

仁川市江華郡所在の豚農場の予察検査の過程でアフリカ豚コレラの疑い
(農林畜産食品部報道資料)

9月24日、農林畜産食品部は、仁川市江華郡所在の豚農場の予察検査の過程でアフリカ豚コレラの疑いとの報道資料を発出したところ概要以下のとおり。

<http://www.mafra.go.kr/mafra/293/subview.do?enc=Zm5jdDF8QE8JTJGYmJzJTJGbwWFmc mElMkY20CUyRjMyMTQxMyUyRmFydGNsVmIldy5kbyUzRg%3D%3D>

【見出し】

仁川市江華郡(カンファグン)所在の豚農場予察検査の過程でアフリカ豚コレラ(ASF)の疑いのある農家を確認

【本文】

農林畜産食品部は仁川広域市江華郡松海面(ソヘミョン)所在の豚農場に対するアフリカ豚コレラ(以下「ASF」)予察検査の過程で9月24日(月)アフリカ豚コレラの疑いのある農家(1戸)*が確認され、農林畜産検疫本部で精密検査を推進中である。

*豚約400頭飼育

農食品部はアフリカの豚コレラの疑いを確認した該当農家に初動防疫チームを投入し、人、家畜及び車両などの移動統制、消毒など緊急防疫措置を取っている。

畜産農家及び畜産関係者はASF発生及び伝播防止のため、農場及び関連施設に対する消毒など防疫措置を十分に行い、疑いの症状がないか綿密に観察し、異常を発見した場合、家畜防疫機関などに速やかに届け出るよう求めた。

(以上)